

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	今後アセスメントを充実させながら、職員が入居者の介護計画を念頭においた介護を提供して、入居者がさらに良く暮らせるように、チームとして工夫されることが望まれます。また、モニタリングの基になる日々の記録も見直しをされることを期待します。	入居者一人ひとりの状態や取り巻く状況・環境に関する情報を収集し、定期的にアセスメントを行い、解決すべき課題を明確にしていきます。また、日々の記録については、介護計画にある目標に沿った記録をし、今後のサービス提供の指標となる情報源として活用できるようにします。	入居者一人ひとりに担当職員が決められているので、再アセスメントを実施し、目標と課題を探ることにしました。また、日々の記録であるケース記録について見直し、モニタリングの基となる記録について学習することにしました。	2ヶ月
2	35	ハザードマップでは地すべり対象区域に入っており、具体的な避難対策を検討し、職員に徹底することが望まれます。想定外の災害が各地で起きている現状を踏まえ、災害が起きた後の体制の検討も含め、災害対策の充実が求められます。	引き続き地区内の介護施設と協議し、わだの家として避難生活を送るために備えておくべき品目や数量についても検討し備蓄します。	災害対策については、職員間で協議をし対策を立て、近くにある特養と災害時の協力について取り決めをしてありましたが、更に災害を想定し、協力関係を見直していきます。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成してください。